

「宇宙環境倫理学」からイメージされそうな問題

- デブリ問題
 - テラフォーミングの問題
 - 宇宙における資源開発の問題
 - 地球からの脱出、移住の問題
- など

「宇宙船地球号」

未来の閉じた経済は、同様に「宇宙飛行士の経済」と呼ばれるだろう。そこでは地球は、採取もしくは汚染、いずれかのための無限の貯蔵庫など備えていない、一つの宇宙船となっている。・・・

ケネス・ボールディング(1966)「来たるべき宇宙船地球号の経済学」

10

加藤尚武による古典的な「環境倫理学の三つの主張」

- 自然の生存権
- 2 世代間倫理
- 地球全体主義 - 地球の有限性

(1991, 丸善ライブラリー)



・・・人々のものの考え方に最大の変化が生じたのは、われわれの宇宙飛行士が離れた場所から地球の写真をとって、みんなが見れるよう持ちかえったときだった。そこにはわれわれの地球 - 青みがかった小さな球が、白い雲の渦をまとっていた。広大な宇宙にうかぶ、ちっぽけなもの。有限で、閉じ込められている。一つの宇宙船。

ギャレット・ハーティン(1972)

Exploring New Ethics for Survival: The Voyage of the Spaceship Beagle..

11

この後の話の大枠での方向性について

- 古典的な環境倫理学は1970年ごろに登場してきた
- その少し前の1960年代の状況がその性質に大きな影響を与えた
- 今日の主な話題の一つは環境倫理学登場の時代背景(のうちのある部分)
- かいつまんで言えば、それは環境危機、(核)戦争の危機、そして宇宙開発競争の時代。そのような時代に何が問われたのか?

9

・・・われわれは239,000マイル離れたところ、月に到達するために、300億ドルほども費やしてきた。これは偉大な達成であった。しかしながら結局のところ、[アメリカの]宇宙計画の一番の産物は、この地球上におけるわれわれの状況についてのより深い理解だと明らかになるかもしれない。われわれは少なくとも直感的に次のように感じるようになるかもしれない。地球はまさに有限で、おまけにたいして大きくもない。われわれは破壊することなく地球を利用することを学ばなければならない、と。

ハーティン 前掲書

12

人間は物事を予見し、あらかじめ対処する能力を失った。地球を破壊して人間は滅びるだろう。

レイチェル・カーソン (1962) 『沈黙の春』

13

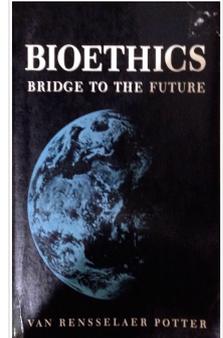
人類の生存という この時代の倫理問題

ハーディン前掲書 “New Ethics for Survival”

ポッター (1971) 『バイオエシックス』

現在の意味での生命倫理ではない

“The Science of Survival”



16

ここまでの要点 1

この時期の宇宙計画と並行して、宇宙船としての地球という比喩が広く用いられるようになったが、それはむしろ有限な地球上でなんとかやっていくしかないという感覚を生み出したかもしれない

もちろん環境倫理学 = 「地球環境倫理学」だった

14

地球上での生存を脅かす要因

有限性に関わる問題

- 人口問題: ポール・エリック (1968) 『人口爆弾』
- 資源問題
- 廃棄物問題など

戦争 (核戦争、宇宙開発競争を含む)

科学技術の暴走

17

ここまでの要点 2

『沈黙の春』が典型だが、科学技術の暴走と人類の傲慢が環境と人類の生存の危機をもたらしたという議論も影響力を持っていた

科学技術が環境危機の原因である以上、科学技術 (だけ) ではこの危機は克服できない、という想定

→ じゃあなんだったら解決に寄与するのかというときの、選択肢の一つが (環境) 倫理だった

15

ふたたび『21エモン』より

1968年時点から見た (SF的) 未来予想 - 核戦争の可能性

1980年代半ばに世界大戦が危うく回避され、
核兵器が廃絶される

18

ここまでのまとめ

地球環境倫理学が1970年代に登場してきたときの背景にあった問題、少なくともその重要な一部は、有限性その他の要因によって脅かされている地球上での人類の生存だった。

そして人類の生存は、もちろん、世代にわたる人類の存続を含意する。

19

1. 社会的次元

- 「宇宙探査に反対する議論」など

2. 科学的または技術的次元

- 「地球周回軌道の汚染」
- 「宇宙の商用 / 産業的利用」
- 「惑星の探査と利用」

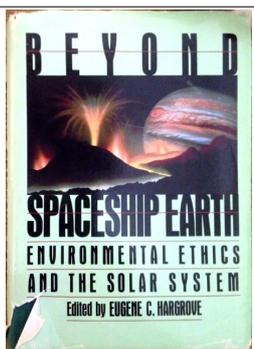
22

宇宙船地球号を超えて

ハーグローブ編（1986）のイントロ

「・・・たとえば、「宇宙船地球号」という概念は、宇宙探査によってインスパイアされたものであるにもかかわらず、強固なまでに地球上での環境問題に焦点を置き続けている。」

→宇宙環境倫理学



20

4. 人間的次元

- 「宇宙におけるリスクへの同意」
- 「神学と宇宙」など

5. 政治的次元

- 「スターウォーズ：宇宙の核 / 軍事利用」

23

この論文集の章立て

社会的次元

科学的または技術的次元

3. 哲学的または環境的次元

人間的次元

政治的次元

21

3. 哲学的または環境的次元

従来の環境倫理学で論じられてきたような話題が宇宙環境を対象として論じられている

- 太陽系における自然の価値の保存
- 人の手が入っていない原生自然としての宇宙
- 地球外の生態系についての環境倫理学
- 地球外生命は道徳的配慮の対象となりうるか、など

24

宇宙環境倫理学の基本的な方向性？

科学的探求 ○

資源あるいは経済的開発 △

軍事利用 ×

25

環境と開発に関するリオ宣言（1992）

Principle 24

Warfare is inherently destructive of sustainable development...

Principle 25

Peace, development and environmental protection are interdependent and indivisible.

これらの原則は宇宙環境についてもあてはまるだろう

ご静聴ありがとうございました

27